

## モンゴル

2011年のモンゴル経済は、国内の鉱物資源開発への内外の投資と、主要輸出品の価格上昇によって、引き続き加速を続け、経済成長率は二桁に達した。一方でインフレ率も二桁のレベルとなっており、失業者数は高い水準に止まっている。経済全体が鉱業部門の業績に依存しており、国の輸出は単一の市場に依存している。こうした傾向は2012年1月も同様である。

### マクロ経済指標

国家統計局の公表した速報値によれば、2011年の実質GDP成長率は17.3%に達し、前年の6.4%を大きく上回った。第4四半期の実質GDPは前年同期比19.3%の伸びであった。

2011年の鉱工業生産額は前年比9.7%増となった。部門別では、鉱業が前年同期比9.5%増、製造業は同11.6%増であった。鉱業部門の生産増加の大部分は石炭及び原油採掘に関連している。製造業の成長は、食料品、建設資材などの生産増加によるものである。鉱工業は2012年も好調なスタートを切っており、1月の生産額は前年同期比5.7%増であった。

2011年の年間平均消費者物価上昇率は9.2%であった。一方、12月末の消費者物価は前年同期比10.2%の上昇で、2012年1月も同じであった。2012年の消費者物価を部門別に見ると、全ての部門で上昇しており、最も高かったのは交通・運輸の前年比16.1%（ウランバートルでは同21.9%）で、住居・水・電力及び燃料が同14.1%で次いでいる。ただしウランバートルでは衣類・履物が同17.5%で二番目に高くなっている。

2011年の年間平均対米ドル為替レートは、1ドル=1,241トゥグルグで、対前年比8.2%増価した。しかし2012年1月には同1,395に減価している。

経済全般の好調にも関わらず、登録失業者数は2011年末に57,200人となり、前年同期の38,300人から増加した。およそ50%の増加である。一方で、社会福祉労働省によれば、2011年には73,200の新たな雇用が創出されたとしている。ウランバートルでは登録失業者の55%が、それ以外の地域ではその60%が、16～34歳となっている。2011年に国内で133,700人が、高校、大学、専門学校を卒業している。2012年1月の登録失業者数は、58,200人に増加している。

2011年の国家財政収支は6,320億トゥグルグの赤字と

なった。これはGDPの5.8%に相当する。2011年の財政収入は前年を41%上回り、財政支出は同じく前年を56%上回った。財政安定化法によって、財政収入の5%、2,410億トゥグルグが財政安定化基金に積み立てられる。このため、実際の財政収入は4兆4,006億トゥグルグから、4兆1,596億トゥグルグに減少する。財政支出は4兆8,000億トゥグルグで、この67.5%が経常支出、22.3%が資本支出、10.2%が純融資となっている。暫定予測値によれば、資本支出は前年を80.6%上回った。連立政権は選挙公約に基づき、280万人のモンゴル国民に対し、人間開発基金から、2011年に7,331億トゥグルグの分配を行った。2012年1月の財政収支は660億トゥグルグの黒字であった。

2011年末時点の外貨準備高は23億ドルで、2012年1月末には22億ドルに減少した。

### 外国貿易

2012年のモンゴルの貿易相手先は127か国で、貿易総額113億ドルで、輸出額は48億ドル、輸入額は65億ドルで、貿易収支の赤字は17億ドルとなった。輸入額の急速な拡大は、オユ・トルゴイなどの鉱業プロジェクト及びインフラプロジェクトに用いる設備、機械、燃料の輸入の増加によるものである。例年どおり、中国はモンゴルの総輸出の92.1%を占め、鉱業関連輸出のほぼ唯一の市場となった。

石炭の輸出額は全体の47.1%で、以前は第一の輸出品目であった銅精鉱を上回った。銅精鉱の輸出額は全体の20.2%で、鉄鉱石が9.1%、原油が5.3%、錫精鉱が3%となっている。

2011年の輸入先は前年とほぼ同様で、中国が30.8%、ロシアが24.5%、米国が8.2%、日本が7.4%、韓国が5.4%となっている。全輸入の18.3%が外国直接投資（FDI）と関連したものである。鉱物の輸出は全体の89.2%であった。機械、電気機器及び部品の輸入は全体の27.2%、車両及び部品の輸入は同じく22.9%を占めた。

### 農業部門

2011年末の家畜頭数は3,630万頭で、前年同期を1%上回った。内訳はヤギが全体の43.9%、羊が43.1%、牛が6.4%、馬が5.8%を占めた。ラクダは28万頭で、全体の0.8%であった。

2011年には、44.6万トンの穀物、20.2万トンのジャガイモ、9.9万トンの野菜を収穫した。これはそれぞれの品目で、前年同期比25.6%増、20.1%増、20.3%増にあたる。

(ERINA調査研究部主任研究員 Sh. エンクバヤル)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2011年1Q	2Q	3Q	4Q	2011年12月	2012年1月
実質GDP成長率(対前年同期比:%)	7.3	8.6	10.2	8.9	▲1.3	6.4	17.3	9.8	16.8	20.7	19.3	—	—
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	▲4.2	9.1	9.7	2.8	▲3.3	10.0	9.7	7.2	13.1	8.4	9.9	3.6	5.7
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	9.5	6.0	15.1	22.1	4.2	13.0	10.2	8.0	6.2	10.5	10.2	10.2	10.2
登録失業者(千人)	32.9	32.9	29.9	29.8	38.1	38.3	57.2	40.8	41.7	40.7	57.2	57.2	58.2
対ドル為替レート(トゥグルグ)	1,205	1,180	1,170	1,169	1,437	1,356	1,244	1,246	1,238	1,248	1,330	1,374	1,395
貿易収支(百万USドル)	▲113	107	▲114	▲710	▲229	▲292	▲1,747	▲346	▲387	▲612	▲361	▲42	▲255
輸出(百万USドル)	1,064	1,542	1,948	2,535	1,903	2,909	4,780	742	1,251	1,489	1,340	518	240
輸入(百万USドル)	1,177	1,435	2,062	3,245	2,131	3,200	6,527	1,087	1,638	2,101	1,701	560	495
国家財政収支(十億トゥグルグ)	73	123	133	▲306	▲329	2	▲632	104	▲5	138	▲869	▲679	66
国内貨物輸送(百万トンキロ)	10,268	9,693	9,030	9,051	8,981	12,125	16,300	3,063	4,147	5,052	4,038	—	—
国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ)	9,948	9,226	8,361	8,261	7,817	10,287	11,382	2,250	2,966	3,182	2,984	993	1,064
成畜死亡数(千頭)	677	476	294	1,641	1,733	10,320	651	258	248	19	126	—	23

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局「モンゴル統計年鑑」、「モンゴル統計月報」各号ほか